

会議記録(1)

会議名称	北本市次世代育成支援対策地域協議会（第1回）
開会及び閉会日時	平成22年7月12日（月） 午後2時～午後3時30分
開催場所	文化センター 第2会議室
議長氏名	田澤あけみ
出席委員(者)氏名	田澤あけみ、近藤みどり、田口景子、佐藤洸、小山田栄、大島陽子、若山清和、木村嶺子、有田めぐみ、中村菜摘、蜂谷学
欠席委員(者)氏名	鈴木礼子、村田和香子、下里晴朗、新井利民、広瀬正幸、町田哲夫
説明者の職氏名	部長 加藤一男 主幹 小暮秀行 主査 南 豊
事務局職員職氏名	部長 加藤一男 主幹 小暮秀行 主査 南 豊
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 挨拶 4 自己紹介 5 議題 (1) 次世代育成支援行動計画と、その進捗管理について (2) 子育て支援に関する主要施策について (3) その他 6 閉会
配布資料	北本市次世代育成支援行動計画について（資料1） 北本市次世代育成支援行動計画の取組状況について（資料2） 北本市次世代育成支援行動計画事業進捗状況表(案)（資料3） 北本市次世代育成支援行動計画事業一覧（資料4）

会議記録(2)

発言者	発言内容・決定事項
事務局	1 開会
	2 委嘱状交付
石津市長	【石津市長から委嘱状の交付】
	3 挨拶
石津市長	【石津市長あいさつ】
田澤会長	【田澤会長あいさつ】
	4 自己紹介
	【田澤会長から事務局含めて順次自己紹介】
	5 議題
事務局	議事の進行につきましては、会長をお願いしたいと存じます。
議長	議題の（１）「次世代育成支援行動計画と、その進捗管理について」、事務局の説明を求めます。
事務局	【次世代育成支援行動計画と、その進捗管理について説明】
	説明が終わりましたので、質問のある方の発言を求めます。
委員	私は、初めて会議に参加して全体像がまだつかめていないのですが、資料４に学校関係の様々な事業がありますが、これも次世代計画に掲載されているものなののでしょうか。こういった教育関係の事業を次世代計画に取り込んで良いのか疑問に思っています。このような事業は、教育委員会で行っている施策であり、あえて次世代計画に掲載しなくてもいいのではないかと思います。

	また、地域コミュニティについての事業も掲載していますが、これらも次世代計画に掲載しなくてもいいのではないかと思います。他の部門が所掌する事業を省略して掲載した方が良いのではないのでしょうか。
事務局	資料４に掲載してある事業は、すべて計画の中にも掲載してある事業です。資料４は、計画書にある個別事業計画を一覧表にまとめたものになります。 次世代計画は、北本市役所内で全庁的に協力して策定した計画で、０歳から１８歳までの児童に対する取組みを、組織横断的に掲載しています。
議長	国の次世代育成支援対策法ができた際も、単独の省庁だけではなく、省庁横断的に協力してできた経緯もあったように記憶しています。国の次世代に係る計画でも、ニート対策が掲載されるなど、様々な分野の取組が掲載されていました。
委員	資料２「計画の基本的な視点」で、５つの視点と記載されているながら、４つしか視点が掲載されていないがどうのことでしょうか。
事務局	資料２の中に５つ目の視点の掲載が抜けていました。５つ目の視点として「身近に利用できる地域資源の活用と整備の視点」を入れて、訂正をお願いします。
委員	同様に先ほど、「前期計画では特定１４事業」という説明がありましたが、資料２には「１３分野」の事業しか掲載されていません。これはどうのことでしょうか。
事務局	前期計画策定の際（平成１７年）には、国から示された「特定１４事業」に対して目標値を策定しましたが、本市で行われていない事業や、その後、統廃合された事業等もあり、現在、北本市では資料に記載してある「１３分野」についての実績値を公表しています。
委員	組織横断的に事業計画を掲載するという趣旨は理解できましたが、あまり横断的に多数の事業を羅列すると、内容が広範囲でぼやけてしまう印象を受けます。もう少し絞った形で紹介した方が

	良いのではないのでしょうか。
委員	同様に、計画の進捗管理案の中で、事業の実績を「量（数値）」でとらえる予定ですが、どこかに重点を置いたほうがより分かりやすくなるのではないのでしょうか。
事務局	検討いたします。
委員	計画中に「児童館の整備」という事項があります。数ヶ月前の市の広報紙でも、市長のコラムに「児童館を市役所の敷地内に建てて、子ども図書館スペースを設ける」というような記載がありました。現在の中央図書館が直ぐ近くにある上で、また「子ども図書館」を建てるというのはどうなのでしょう。
事務局	児童館は、次世代のニーズ調査においても一番市民から要望のあった施設で、以前から議会等でも要望のあった施設であります。そのような経緯もあり、児童館の整備を次世代計画の中でも位置づけ、整備について検討しているところです。 現在、中央図書館を運営している中で、図書館が狭いとか周囲の声がうるさい等の市民からの意見があると聞いています。図書館の児童コーナーについて、児童館の中に「子ども図書館」として移すことができれば、今の図書館も広く使え、児童にとっても児童館に専用コーナーができ、分けることでお互いが充実できるのではないかと考えています。
委員	進捗管理表の中で、A、B、Cという評価より、具体的な数字の方がよりわかりやすいのではないのでしょうか。前年から比べて、どの程度増えた（減った）のかがわかった方が判断しやすいと思います。
委員	数値による評価は、いわば「量」による評価であると思います。量的な面の評価はこれで良いですが、質的な面の評価ができないか検討してもらいたいです。全部の分野でなくてもいいので、質的な面の評価を持たれた方が良いと思います。
事務局	検討いたします。
議長	続いて、議題の（２）「子育てに関する主要施策について」。

事務局	事務局から、その説明をお願いします。
議長	【子育てに関する主要施策について説明】
委員	説明が終わりましたので、質問のある方の発言を求めます。
事務局	障害児学童保育室は、昨年度 NPO 法人格を取得しました。今、事務局から運営形態が変わるという説明がありましたがどういうことでしょうか。 障害児学童については、建物は市が設置（公設）し、運営について民間に委託するという形で事業を進めてきました。しかし、本来地方自治法では、公設については、「直営」か「指定管理」という方法で運営するよう規定されています。現在は、NPO に「委託」をしていますので、このような運営形態は自治法の趣旨から望ましい状況ではありません。 指定管理の場合は、議会の議決事項のため、本年度の 9 月議会で審議し、来年度から指定管理を実施する方向でお願いしたいと考えています。これについては、「すきっぷ」の理事の皆様にも説明させていただきました。細かい部分については、今後詰めていくことになります。
委員	「中核保育所」とはどのようなものでしょうか。詳しく教えてください。
事務局	場所は、本宿 7 丁目に計画しています。東保育所を廃止して、中核保育所として整備する計画です。「中核」というのは、これまでに公立保育所でやっていない、病後児、一時保育、完全給食等の保育サービスをやっていくということです。公立保育所の中核的な施設として整備していきます。 規模も 120 人程度で、公立としては、一番大きな規模となります。
委員	敷地から埋蔵文化財が発見されて、工期が遅れるという話がありましたが、再来年度の開所予定もずれ込むのでしょうか。
事務局	埋蔵文化財の調査については、年内には終了する見込みです。年度内には造成工事を完成させる計画なので、平成 24 年度開所に

委員 事務局	は影響はないと思います。 「学童保育室の分割」とは、どのようなことでしょうか。 学童保育室の定員については、国の指針で 40 人程度が適正であり、70 人を超えるのは良くないとされています。北本市の学童保育のうち西、東、北の保育室は、70 人を超える状況にあることから、それらの学童について、現在ある学童保育室の他にもうひとつ学童保育室を整備するものです。 加えて申し上げますと、児童館については、本年度は基本設計として予算措置されています。現在、内部では、設計の前の「基本計画」について検討している段階です。今後、基本/計画が具体的にになりましたら、この協議会にもお示しして意見等をいただければと考えています。 単なる「小型児童館」ではなく、運動機能を備えた「児童センター」的な児童館を計画しています。複合施設として「子育て支援センター」を併せ持ち、子育て支援の拠点となるような施設として整備を進めて行きたいと考えています。 委員 事務局 議長 事務局 議長
	会議のやり方についてですが、このような説明のあることについては、口頭ではなく一枚の資料としてまとめて説明された方が、会議の時間も節約できて良いと思います。 検討いたします。 続きまして、議題の（３）「その他」について。 本日の会議の内容または、次世代計画全体についてでも結構ですので、委員の皆様から、ご質問、ご意見等ございましたら、頂戴したいと存じますが、いかがでしょうか。 事務局からは、何かありますか。 【協議会委員の報酬について説明】 それでは、本日の議題については、以上で終わりましたので、議事の進行を事務局に戻します。

事務局	6 閉会 田澤会長ありがとうございました。また委員の皆様ありがとうございました。 以上をもちまして、平成22年度次世代育成支援対策地域協議会の第1回会議を閉会いたします。
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。 2010年12月21日 委員長(会長) 田澤 あけみ	